投稿要綱

1.　投稿者資格

本誌投稿者は，原則として，筆頭著者または共著者に，本学看護学科教員を1人以上含むこととする。但し，岐阜大学医学部看護学科・大学院医学系研究科看護学専攻広報・情報処理委員会（以下：広報・情報処理委員会）から依頼された原稿は，この限りではない。

2.　刊行形態

岐阜大学医学部ホームページの看護学科ページ（以下，看護学科ホームページ）上に，オンラインジャーナルとして刊行する。

3.　投稿論文の種類

原稿は下記の論文種別によるものとし，他の雑誌に未発表のもの。

原著：独創的で新しい研究成果を記述した研究論文。
当該分野のオリジナル論文，関連するエビデンスレベルの高い論文を含む，複数の論文との関連の上で，学術上の価値および有用性があり，看護学および医療の発展へ貢献が期待できるもの。

総説：看護・保健・医療等に関連する主題に関し，当該領域の研究を体系的に精査し，総合的な概説，研究動向及び展望を示すもの。

報告：看護・保健・医療等に関連する諸分野の研究及び実践に資すると認められるもの。

4.　投稿の手続き

1)　原稿は，パソコンの文書作成ソフト：Microsoft word を使用し（その他のソフトは受け付けない），A4 版，横書きとする。書式は，上下・左右余白ともに 30mm とし，1 頁 40 字×40 行とする。また，本文に頁番号および頁ごとに行番号を入れる。

2)　図表は本文中に挿入せず，文章末に掲載する大きさで貼り付ける。

3)　原則として，原稿の種類を問わず，日本語・英語のタイトルと要旨を要する（英語についてはネイティブチェックを受け，PDF にしてある証明書を提出する）。

4)　査読用原稿は，著者情報（著者名，所属，連絡先，謝辞、文献など）にマスク(著者名等を記載した後に黒のペン機能を使用)する。

5)　原稿は word ファイルと PDF に変換したファイル両方を，次の広報・情報処理委員会宛てのメールアドレスに提出する。
メールアドレス：gkangoj@t.gifu-u.ac.jp

6)　初回投稿時に下記の書類一式を提出する。

(1) 投稿申請用紙
(2) 原稿（所属・氏名をマスクし，図表は文章末に掲載する大きさにして張り付けたもの）：word ファイル
(3) 原稿：PDF ファイル
(4) ネイティブチェックの証明書：PDF ファイル
(5) チェックおよび署名をした投稿用チェックリスト：PDF ファイル

(6) 利益相反（COI）申請書（論文中に利益相反があると記載している場合のみ）：PDF ファイル

7) 原稿の受付日は，メール提出した日とする。

8) 受付日を過ぎた原稿は，原則として受理しない。

5. 原稿の頁数

投稿原稿の 1 編は，原稿の種類を問わず図表を入れて 10 頁以内とする。英語の要旨（Abstract）はこれに含まない。

6. 査読および掲載の採否

1)投稿者は，内容にふさわしい査読者を 2 名推薦することができる（内諾を得る必要はない）。また，投稿者は，査読者としてふさわしくない人物を広報・情報処理委員会に意見することができる。

2)広報・情報処理委員会，推薦された査読者を含めた複数の査読者候補から，適切な査読者を選定し，査読を依頼する。

3)原稿の採否は，原則 2 名による査読を経て，広報・情報処理委員会が決定する。また，論文の種別（原著，総説，報告の別）についても，広報・情報処理委員会が決定する。

7. 著者校正

査読を経て広報・情報処理委員会に受理された投稿原稿は，著者校正を 1 回行う。2 校以後は著者校正に基づいて広報・情報処理委員会が行う。なお，校正の際の加筆は一切認めない。

8. 倫理的配慮・著作権等

1) すべての著者は，原稿の作成に直接関与したものであることを要する。筆頭著者は，すべての著者が原稿の投稿・公表に同意したことを確認してから投稿する。

2) 人および動物が対象である研究は，主となる研究者が所属する施設の倫理委員会の承認を得ていることが必要である。その場合，承認番号を本文中の該当箇所に明記すること。

3) 投稿原稿は，他紙に未発表のものに限る。重複投稿は禁止する。

4) 掲載される論文の著作権は，広報・情報処理委員会に帰属する。筆頭著者は，すべての著者から著作権の帰属について了解を得る。本誌の掲載論文の一部の転載を希望するものは，広報・情報処理委員会に転載許可を得たうえで，出典を明記しなければならない。

5) 学術機関リポジトリへの登載・公開は，筆頭著者およびすべての共著者の承諾があるものとして認める。

9. 原稿執筆要領は，別に定める。

10. 掲載料

1) 掲載料は無料とする。

2) その他，校正，図表等，特別な費用を必要とした場合は，著者負担とする。

附　則

この投稿要綱は，2022 年 1 月 12 日より発効する。

この投稿要領は，2022 年 2 月 14 日より発効する。

この投稿要領は，2022 年 9 月 7 日より発効する。

この投稿要領は，2023 年 9 月 13 日より発効する。

原稿執筆要領

I.　投稿の際の書式等

1.　原稿は，パソコンの文書作成ソフト：Microsoft　word を使用し（その他のソフトは受け付けない），A4 版，横書きとする。

2.　書式は，上下・左右余白ともに 30mm とし，1 頁 40 字×40 行とする。また，本文に頁番号および頁ごとに行番号を入れる。

II. タイトル・氏名・要旨等

1.　日本語の場合

1)　タイトルは，MS ゴシック・14pt の太字とする。

2)　著者名は，氏と名の間に全角スペースを入れ，MS 明朝・12pt の太字で列記する。

3)　著者が複数の場合は「,」で並べ，著者名の右肩に，所属を表すための数値を上付き文字で 1)，2) とつける。

4)　キーワードは MS ゴシック・10pt の太字で記し，用語間は「,」で区切る。また，キーワードは 3～5 個記載する。

5)　要旨の文字は MS 明朝・10pt とし，太字とする。

6)　要旨の文章は 400 文字程度とし，MS 明朝・10pt で記載する。

2.　英語の場合

1)　タイトルは，Times New Roman・14pt の太字とする。

2)　著者名は，氏と名の間に全角でスペースを入れ,Times　New　Roman・12pt の太字で列記する。

3)　著者が複数の場合は「,」で並べ，著者名の右肩に，所属を表すための数値を上付き文字で 1)，2) とつける。

4)　Key words は Times New Roman・10pt の太字で記し，用語間は「,」で区切る。また，Key words は 3～5 個記載する。

5)　Abstract の文字は Times New Roman　・10pt とし，太字とする。

6)　Abstract の文章は 250words 程度とし，Times New Roman・10pt で記載する。間違いがないことを証明するネイティブチェックを受ける。

III.　本文の書式等

1.　日本語および英数字のフォントは　MS 明朝・10pt とする。句読点は，日本語では「,」「。」(全角)，英語では「,」「.」で統一する。

2.　本文は,「緒言」「方法」「結果」「考察」等の大見出しをつけて構成する。大見出しには，ローマ数字で「Ⅰ.」「Ⅱ.」と順に番号をつけ，左寄せとし,「**緒　言**」のように１マスあける。

3.　見出しは「1.」「2.」とする。それ以降の見出しは，1)，(1)，①，A. a の順に数字や

アルファベットを付す。

4. 大見出しと見出しのフォントはMSゴシック・10ptの太字とする。見出し以降の数字やアルファベットもMSゴシックとするが，太字にはしない。

IV. 図表と文献の引用および記載方法

1. 図表は，本文中に挿入せず，文章末に掲載する大きさで貼り付ける。図は下部に，表は上部に図表番号を明記し，タイトルは左寄せとする。図表のコメントは，必要時，下部に左寄せで挿入する。
2. 文献の引用方法

1) 本文中の引用箇所には「(著者の姓，西暦文献発行年，引用ページ)」を付けて表示する。書籍の場合，引用には常に該当するページを記すが，ページを特定できない時（本文を要約して引用する場合や文意を説明的に引用する場合など）はこの限りではない。引用が複数ページにまたがる場合は「pp.xxx-xxx」とする。雑誌の場合，ページの表示は不要である。

［例］

a. 武田（2015）によると「……は……である」(p.6)。

b.「……は……である」と加藤は述べている（2012，pp.4-5)。

c. 武田は，……は……である，と主張している（2015，p.3)。

2) 2名の著者による単独の文献の場合，その文献が本文に出現するたびに常に両方の著者の姓の間に「・」を付して表記する。外国語文献では，2名の姓を「&」でつなぐ。初出以降に再引用する場合も同様である。

［例］

a. 武田・加藤（2015）によると「……は……である」(p.6)。

b.「……は……である」と武田・加藤・高山は述べている（2013，pp.120-123)。

c. 武田・加藤は，……は……である，と主張している（2013，p.3)。

d. Takeda & Kitou（2013，p.3）は… 。

3) 著者が3，4，5名の場合，文献が初出の時点ですべての著者姓を，間に「・」を付して表記する。外国語文献では，最後の著者姓の前に「&」を入れる。初出以降に再引用する場合は，最初の著者の後ろに「他」を付ける。外国語文献の場合は「et al.」を付ける。例外として，最初の著者1名では論文の区別がつかない場合，区別がつくまで著者姓を列記する。

［例］

a. ……であることが明らかにされている（武田・加藤・高山・山田，2011)。

b. ……は……である（Johnson，Williams，Brown，Jones，& Smith，2011)。

4) 著者が6名以上の場合は，初出・再引用にかかわらず，筆頭著者の姓のみに「他」（外国語文献の場合は「et al.」）を付す。

5) 複数文献を同一個所で引用した場合には，（鈴江，2012；高山・田中，2011）というように筆頭著者のアルファベット順に列記する。

6) 同一書籍の異なるページを複数個所で引用する場合には，本文末の文献リストにおいては単一の文献としてページ数を記載せず，それぞれの引用個所においてページ数を記載する。

［例］高山（2010，pp.23-45）によると…である。また，…であるケースも存在することが明らかにされている（高山，2010，pp.150-156）

7) 翻訳書を引用した場合には，原著出版年／翻訳書発行年を表示する。

［例］Smith & Johnson（2005/2008）によると…

3. 文献の記載方法

1) 引用文献は，論文の最後にまとめて記載する。

2) 文献はハーバード方式，即ち，著者のアルファベット順に列記する。

3) 文献は，行頭文字なしの箇条書きとし，1文献の2行目以降はぶら下げ（1字）とする。

4) 数字と括弧，頁数のハイフンは半角とし，カンマ，ピリオド，コロン，サブタイトル等のハイフンは，全角とする。

5) 著者名は3名まで表記し，4名以上は省略形式とする。

6) 雑誌名は，慣用略称を用いてもよいが，原則として医学系の場合は，医学中央雑誌収載誌目録およびIndex Medicusに従うものとする。

【雑誌掲載論文の場合】

著者名(発行年次)：論文の表題，掲載雑誌名，号もしくは巻(号)，初頁-終頁.

［例］狸小路郁子(2021)：伴侶動物の育成と自己の幸福感の関係性，飼育環境学会誌，(2)，32-28.

【単行本の場合】

著者名(発行年次)：書籍名(版数)，出版社名，発行地.

［例］狸小路寛(2019)：伴侶動物の育て方，福澤出版，東京.

著者名(発行年次)：表題，編者名，書籍名(版数)，初頁-終頁，出版社名，発行地.

［例］狸小路郁子(2021)：消化器疾患と食事療法，岐阜花子，伴侶動物の疾患別治療法，23-52，福澤出版，東京.

【翻訳本の場合】

原著者名／訳者名(翻訳書の発行年次)：翻訳書の書名(版数)，初頁-終頁，出版社名，発行地.

［例］Erikson，E.H（1959）／小此木啓吾，小川捷之，岩男寿美子(1973)：自我同一性―アイデンティティとライフサイクル，111-118，誠信書房，東京.

【電子書籍で，DOIがある場合】

著者名(年号)：論文タイトル，収載誌名，巻(号)，初頁-終頁. doi：xxx-xxx

【電子書籍で，DOI のない場合】

著者名(年号)：論文タイトル，収載誌名，巻(号)，初頁-終頁．URL：http://…

【Web ページなど，逐次的な更新が前提となっているコンテンツを引用する場合】

サイト名：タイトル，Retrieved from: http://・・・・．(検索日：XXXX 年 XX 月 XX 日)

［例］日本看護協会：2020 年看護実態調査報告書：
https://www.nurse.or.jp/up_pdf/20200330151534_f.pdf(検索日：2021 年 12 月 17 日)

V. 利益相反の開示と著者資格貢献度

1. 利益相反に関する記述を「利益相反の開示」(MS ゴシック・太字・左寄せ，見出しは不要）と書いたのちに，本文中に書く。

［例］本研究は，令和 3 年度科学研究費助成事業の学術助成基金(課題番号〇〇〇)の交付により実施した。

［例］本論文に関して，開示すべき利益相反関連事項はない。

2. 著者貢献度に関する記述を「著者貢献度」(MS ゴシック・太字・左寄せ，見出しは不要）と書いたのちに，本文中に書く。

［例］I.U は，研究の着想，データの収集及び分析と解釈，原稿作成に貢献した。また I.M は，データの分析に貢献した。全ての著者は，最終原稿を読み，承諾した。

VI. 投稿申請用紙

1. 規定の投稿申請用紙に，①タイトル（日本語・英語)，②原稿の種別，③所属，氏名（連名の場合は全員)，④連絡先（住所，電話番号，メールアドレス）等を記載，または，該当するものにチェックを入れる。

附　則

この要領は 2022 年 1 月 12 日より発効する

この要領は 2022 年 9 月 7 日より発効する

この要領は 2023 年 9 月 13 日より発効する

レイアウト，行番号を設定する

上下・左右余白ともに 30mm とし，1 頁 40 字×40 行とする

看護学教育における・・・（14pt・MS ゴシック）

（タイトル下一行空ける）

マスクは黒のペン機能を使用

岐阜　花子[1)]，[redacted]

1)〇〇大学医学部看護学科，2)[redacted]

10pt・MS 明朝・タイトルのみ太字

（所属下一行空ける）

要旨： 本研究において（本文：10pt・MS 明朝）

10pt・MS ゴシック・太字・3～5 個

（要旨下一行空ける）

キーワード：看護師，〇〇〇，〇〇〇

大見出しの文字間は 1 文字あける

Ⅰ．緒　言

本研究は・・・である。

・・・・

著者が 3～5 名で初出の場合は全員記載し、それ以降は筆頭著者の後ろに「他」を付す。6 名以上は初出でも筆頭著者の後ろに「他」を付す

武田・加藤・高山・山田(2011)は，「・・・は・・・・である」(p. 12)と述べている。

Ⅱ．方　法

大見出しと見出しは 10pt・MS ゴシック・太字
それ以降は太字にしない

1．研究デザイン

1)・・・

(1)・・・

①・・・・

Ⅳ．文　献

看護太郎，教育花子，日本次郎他(2021)：コロナ禍における看護学実習の現状と課題―看護大学生の語りからの分析―，岐阜看護学ジャーナル，1(2)，15-18.

数字と括弧，頁数のハイフンは半角とし，カンマ，ピリオド，コロン，サブタイトルのハイフンは全角

図表について

文章末に図表をまとめて掲載する大きさにして張り付ける

図は下部に、表は上部に図表番号、タイトルを左寄せとする

Ver.2022.03.24
Ver.2022.09.08
Ver.2023.09.13

岐阜看護学ジャーナル論文投稿チェックリスト

投稿する前に下記の項目について点検をお願いいたします。点検後，□に☑を記載し，日付と直筆署名したものをPDFにし，原稿と一緒に送信してください。チェックされていない箇所があった場合は，投稿を受領しないことがあります。

□１．投稿論文は，他の出版物にすでに発表，或いは投稿していない。
□２．倫理的配慮を要する研究は，倫理審査を受審し，その内容が記載している。
□３．原稿は，パソコンの文書作成ソフト：Microsoft word を使用している。
□４．原稿は，図表含め本文10枚以内，英文 abstract　1ページである。
□５．原稿は上下・左右の余白は30mm，1ページ40字×40行である。
□６．原稿の左には行番号が表示されている。
□７．原稿のタイトルは，日本語，英語とも14pt・太字である。
□８．著者名は，日本語，英語とも12pt・太字である。
□９．著者複数の場合は，著者名を「,」で区切り，著者名の右肩に，所属を表すための数値を上付き文字で[1), 2)]と付記している。
□10．所属機関名は，・・・・[1)]，・・[2)]と著者名に対応して記載している。
□11．日本語の要旨は400文字程度（10pt・MS明朝），英語の abstract は250word程度（10pt・Times New Roman）で記載している。
□12．日本語のキーワード（10pt・MSゴシック・太字，用語間は「,」で区切る）を，3～5個記載している。
□13．英語のキーワード（10pt・Times New Roman・太字，用語間は「,」で区切る）を，3～5個記載している。
□14．日本語の本文（英数字を含む）は10pt・MS明朝で記載している。
□15．日本語の句読点は「。」「,」を全角で記載している。
□16．初回投稿時に提出する原稿には著者名と所属および倫理審査を受けた場所の機関名を黒のペン機能を用いてマスクをしてある。
□17．本文は，「緒　言」「方　法」「結　果」「考　察」の大見出しをつけて構成し，大見出しには「Ⅰ.」「Ⅱ.」と順番をつけ左寄せにし，10pt・MSゴシック・太字で記載している。
□18．見出しには「1.」「2.」と順番をつけ，10pt・MS ゴシック・太字で記載している。
□19．上記，「Ⅰ.」「Ⅱ.」又は「1.」「2.」以降の見出しは，MSゴシック（太字にはしない）で記載している。
□20．図は下部に，表は上部に図表番号を記載し，タイトルを左寄せにしている。
□21　図表は原稿末尾に掲載する大きさで，タイトルと図表が一体となって張り付けてある。

Ver.2022.03.24
Ver.2022.09.08
Ver.2023.09.13

□22. 本文中の文献の記載は，（著者名，発行年）で示している。
□23. 引用文献は文末に，著者のアルファベット順に記載している。
□24. 文献は行頭文字無しの箇条書きとし，1 文献の 2 行目以降はぶら下げ（1 字）としている。
□25. 文献記載の際の数字と括弧，頁数のハイフンは，全て半角にしている。
□26. 文献記載の際の，カンマ，ピリオド，コロン，サブタイトル等のハイフンは全角にしている。
□27. 著者名は 3 名まで表記し，4 名以上は（他）と省略形式としている。
□28. テンプレートの「投稿申請用紙」を使用し，すべての項目にもれなく記載している。
・投稿・修正後のいずれかに〇
・原稿送付年月日
・タイトル　日本語/英語,—
・著者名，所属機関（連名の場合は全員）　日本語/英語
・代表者の連絡先（氏名，住所，電話/FAX，E メールアドレス）
・キーワード　日本語/英語（５つまで，用語間は「,」で区切られている）
・英語の native　check 者・機関名
・希望する原稿の種類
・本文原稿の枚数，本文，図，表，写真の枚数，英文 abstract
□29. 英文は native check を受け，チェック者・機関名の証明を添付している。
□30.「利益相反の開示」および「著者貢献度」の記載がある。
□31. すべての著者は原稿の作成に直接関与し，原稿の投稿・公表に同意している。
□32. 掲載される論文の著作権は広報・情報処理委員会に帰属することを承諾している。
□33. 筆頭著者はすべての著者から著作権の帰属について承諾している。
□34. 掲載論文の一部の転載を希望するものは広報・情報処理委員会の転載許可を得たうえで，出典を明記しなければならないことを承諾している。
□35　学術機関リポジトリへの登載・公開について，筆頭著者およびすべての共著者が承諾している。

すべての項目を確認しました。

令和　　年　　月　　日

責任著者(自筆)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿